



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年2月3日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチレイ  
コード番号 2871 URL <https://www.nichirei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大櫛 顕也  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 康範 TEL 03-3248-2165  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	537,666	0.5	30,529	△3.9	31,354	△5.2	21,858	6.2
2025年3月期第3四半期	534,841	4.0	31,754	6.6	33,080	6.9	20,575	2.4

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 28,462百万円（16.5％） 2025年3月期第3四半期 24,421百万円（△22.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	87.23	—
2025年3月期第3四半期	80.66	—

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	554,214	292,656	49.6	1,097.20
2025年3月期	499,221	275,966	52.1	1,037.82

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 274,978百万円 2025年3月期 260,041百万円

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	41.00	—	51.00	92.00
2026年3月期	—	23.00	—		
2026年3月期（予想）				24.00	47.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	700,000	△0.3	39,500	3.1	40,300	1.1	28,000	13.2	111.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	256,984,963株	2025年3月期	256,929,738株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	6,366,690株	2025年3月期	6,365,662株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	250,596,649株	2025年3月期3Q	255,087,195株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項や注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 注意事項」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績等の概況 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績等の概況

経営成績等の概況については、本日（2026年2月3日）T D n e t 及び当社ウェブサイト（<https://www.nichirei.co.jp/ir/library/brief.html>）に掲載いたしました決算説明会資料に記載しておりますので、T D n e t 又は当社ウェブサイト（<https://www.nichirei.co.jp/ir/library/brief.html>）より、2026年3月期第3四半期決算説明会資料3ページから11ページの「第3四半期実績」及び24ページの「貸借対照表の増減要因」をご覧ください。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## 当社グループ全体の予想

2025年11月11日付の「2026年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました2026年3月期の通期の連結業績予想の変更はありません。

(単位：百万円)

		通期		
		予想	対前期比較	
			増減額	増減率(%)
売上高	食品	412,000	△21,910	△5.0
	加工食品	333,000	21,416	6.9
	水産	40,000	△18,668	△31.8
	畜産	45,800	△21,615	△32.1
	消去額	△6,800	△3,043	—
	低温物流	300,000	21,726	7.8
	不動産	4,800	△386	△7.5
	その他	5,500	△979	△15.1
	調整額	△22,300	△530	—
	合 計	700,000	△2,080	△0.3
営業利益	食品	19,500	△1,762	△8.3
	加工食品	18,000	△792	△4.2
	水産	1,000	△413	△29.2
	畜産	500	△582	△53.8
	消去額	0	25	—
	低温物流	19,800	4,050	25.7
	不動産	1,800	△100	△5.3
	その他	300	△789	△72.5
	調整額	△1,900	△212	—
	合 計	39,500	1,184	3.1
経常利益		40,300	421	1.1
親会社株主に帰属する当期純利益		28,000	3,268	13.2
1株当たり 当期純利益（円）		111.74		

(注) 年間の為替レートは、1米ドル150円、1ユーロ160円、1パーツ4.4円を想定しております。

注意事項

この第3四半期決算短信に記載されているニチレイの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみにより全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えることが予想されるリスクや不確実な要素には、以下のよう

1. ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢及び業界環境
2. 米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
3. 商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
4. 新商品・新サービス開発の実現性
5. 成長戦略とローコスト構造の実現性
6. ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
7. 偶発事象の結果 など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,369	44,967
受取手形及び売掛金	101,430	120,229
商品及び製品	39,637	42,471
仕掛品	2,582	3,835
原材料及び貯蔵品	12,774	16,034
その他	9,242	14,670
貸倒引当金	△110	△189
流動資産合計	204,925	242,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	100,123	102,595
機械装置及び運搬具（純額）	48,927	53,045
土地	46,457	48,202
リース資産（純額）	12,346	12,761
建設仮勘定	6,027	8,401
その他（純額）	5,355	5,814
有形固定資産合計	219,238	230,821
無形固定資産		
のれん	7,356	9,140
その他	8,936	8,860
無形固定資産合計	16,292	18,001
投資その他の資産		
投資有価証券	45,036	46,779
退職給付に係る資産	40	40
繰延税金資産	2,920	3,120
その他	10,906	13,576
貸倒引当金	△139	△147
投資その他の資産合計	58,764	63,370
固定資産合計	294,295	312,193
資産合計	499,221	554,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,137	32,511
電子記録債務	993	1,554
短期借入金	6,348	17,234
コマーシャル・ペーパー	3,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	9,713	10,135
リース債務	3,568	3,509
未払費用	40,351	40,967
未払法人税等	4,811	6,314
役員賞与引当金	216	189
その他	22,942	29,183
流動負債合計	129,083	161,601
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	33,669	36,046
リース債務	9,955	10,210
繰延税金負債	8,565	11,483
役員退職慰労引当金	63	63
退職給付に係る負債	2,158	2,327
資産除去債務	4,925	5,232
長期預り保証金	2,285	2,270
その他	2,548	2,321
固定負債合計	94,171	99,956
負債合計	223,255	261,557
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,608	30,660
資本剰余金	5,558	5,610
利益剰余金	203,435	213,140
自己株式	△11,749	△11,751
株主資本合計	227,853	237,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,254	19,833
繰延ヘッジ損益	△368	2,410
為替換算調整勘定	15,301	15,074
その他の包括利益累計額合計	32,187	37,318
非支配株主持分	15,925	17,677
純資産合計	275,966	292,656
負債純資産合計	499,221	554,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	534,841	537,666
売上原価	437,043	439,394
売上総利益	97,797	98,272
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	16,406	15,772
販売促進費	1,030	1,229
広告宣伝費	4,105	4,214
役員報酬及び従業員給料・賞与・手当	18,479	19,566
退職給付費用	891	929
法定福利及び厚生費	3,193	3,318
旅費交通費及び通信費	1,985	2,073
賃借料	1,976	2,065
業務委託費	4,443	4,732
研究開発費	1,610	1,490
その他	11,919	12,347
販売費及び一般管理費合計	66,042	67,742
営業利益	31,754	30,529
営業外収益		
受取利息	470	442
受取配当金	1,035	1,110
持分法による投資利益	382	464
その他	493	576
営業外収益合計	2,382	2,593
営業外費用		
支払利息	798	1,008
その他	259	759
営業外費用合計	1,057	1,768
経常利益	33,080	31,354
特別利益		
固定資産売却益	95	104
投資有価証券売却益	306	4,008
受取保険金	31	—
その他	105	311
特別利益合計	538	4,423
特別損失		
固定資産売却損	3	2
固定資産除却損	872	994
減損損失	113	371
事業所閉鎖損失	239	471
その他	155	252
特別損失合計	1,384	2,093
税金等調整前四半期純利益	32,233	33,684
法人税等	9,750	10,404
四半期純利益	22,482	23,279
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,907	1,421
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,575	21,858



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	22,482	23,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△947	2,580
繰延ヘッジ損益	31	2,774
為替換算調整勘定	2,492	219
持分法適用会社に対する持分相当額	361	△391
その他の包括利益合計	1,938	5,182
四半期包括利益	24,421	28,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,657	26,989
非支配株主に係る四半期包括利益	2,763	1,473

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更及び会計上の見積りの変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直し）

従来、当社及び国内連結子会社では、有形固定資産の減価償却方法について、主に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。併せて、グループ全体で、物理的・機能的な使用実態に応じて耐用年数を見直しました。

当社グループは、新たに策定した長期経営目標「N-FIT2035」の達成に向け、第1四半期連結会計期間より新中期経営計画「Compass×Growth2027」をスタートさせ、収益力の強化と資本効率の向上に取り組んでおります。

このような状況において、当計画の策定を契機として、当社の実態を適切に示す減価償却方法及び耐用年数の検討を行いました。

その結果、当社グループの主要な事業領域である食品事業や低温物流事業の需要が今後も堅調に推移し、生産・物流設備が長期、安定的に使用されることが見込まれることから、国内外の有形固定資産の減価償却方法を定額法に統一すると同時に、低温物流事業の建物の一部について耐用年数を延長することが当社グループの実態をより適切に表すものと判断しました。

当該会計方針の変更及び耐用年数の見直しに伴い、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が2,788百万円それぞれ増加しております。なお、セグメント情報に与える影響については当該箇所に記載しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号 2024年3月22日）第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品	低温物流	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	332,681	195,220	2,492	530,393	4,447	534,841	—	534,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	204	14,324	1,350	15,879	648	16,528	△16,528	—
計	332,885	209,544	3,843	546,273	5,096	551,369	△16,528	534,841
セグメント利益	18,141	12,438	1,410	31,990	1,090	33,081	△1,326	31,754

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、環境・事務サポート関連サービスの事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△8,997百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益7,670百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品	低温物流	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	321,057	210,759	2,517	534,333	3,333	537,666	—	537,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	199	14,543	1,212	15,955	633	16,588	△16,588	—
計	321,257	225,302	3,729	550,289	3,966	554,255	△16,588	537,666
セグメント利益	14,868	15,270	1,433	31,572	338	31,911	△1,381	30,529

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、環境・事務サポート関連サービスの事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△8,442百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益7,060百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

食品事業統合に向けた機能再編を開始したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「加工食品」、「水産」、「畜産」、「低温物流」及び「不動産」の5区分から「食品」、「低温物流」及び「不動産」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

また、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直しにより、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「食品」で982百万円、「低温物流」で1,738百万円、「不動産」で2百万円、「その他」で18百万円、「調整額」で45百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却額を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	17,925百万円	16,281百万円

(注) 重要なのれんの償却額はありません。

以上